

修了生の活躍事例

関東能開大を選んだ理由

高校は普通科で、地元で就職か、進学か悩んでいました。ものづくりが好きだったことから、関東能開大であれば、手に職を付けることができるのではと思い、進学先に選びました。

関東能開大で学んだことなど

普通科の卒業ということから、工業高校の卒業生と比べると実技が弱いということもあり、関東能開大では、特に実技には力を注いで勉強しました。学んできたことでは、CADが役立っています。4年次の開発課題実習においては、「自動点字刻印機の開発」に関わり、科を超えたグループのメンバーで開発を行ったことも良い経験になっています。

酒井重工業株式会社
高野 正敏さん（32）
関東職業能力開発大学校
応用課程
生産機械システム技術科
平成23年度修了



将来について

自分の仕事は、表舞台に立たない、縁の下の力持ち的な役割であると感じています。生産技術部門における自分の役割は、設計部門と現場との橋渡しをすることで、これにより会社全体としてのモチベーションを高めて行くような働きをして行きたいと思っています。

就職先企業での活躍

高野 正敏 さんの業務

現在の仕事は、生産技術、設備保全、治具の製作などです。会社に入ったばかりの頃、部品の図面を描く際、新JISを使ったところ、会社の図面は、まだ、対応していないというようなこともあり、戸惑ったこともありました。

関東能開大で行った開発課題実習においては、機械装置を製作する際にそれぞれの科の学生が役割を分担するが、メカの製作から制御まで幅広い要素で構成されている。トータルで1つのものを作り上げるための考え方がわかるということが今の自分の強みになっていると感じています。

会社にある古い設備機器を更新する際、どのようなものが適しているかということについて、部品を製造する材料から部品の組立までを考え、工程設計を考えながら行ったりといったことも行っています。

上司からの声 生産技術室 室長 石井 隆 様

上司からの指示に対し、的確にポイントを捉え、対応をしてくれています。また、これはできる、できないということをはっきりと意思表示をしてくれ、たいへん頼りになっています。

これから会社として、デジタル化に対応して行かなければならないが、新しいことにも積極的に取り組んでくれています。

酒井重工業株式会社

現在関東ポリテクカレッジの修了生4名が活躍中！

長年の経験から生まれた有形無形のノウハウと新技術への飽くなき挑戦により、時代の要請にお応えし、世界の国土建設に貢献できる企業を目指します。事業内容は、建設機械の製造販売及び産業機械の製造販売、仕入販売です。

【主要製品】

土工用振動ローラ、土工用振動タンデムローラ、タイヤローラ、マカダムローラ、振動タンデムローラ、振動コンバインドローラ、振動タイヤローラ、振動マカダムローラ、ランマ、プレートコンパクタ、前後進プレートコンパクタ、ハンドガイドローラ、ロードカッター、ロードスタビライザ、アスファルトフィニッシャー、排水性舗装機能回復車、散水車

